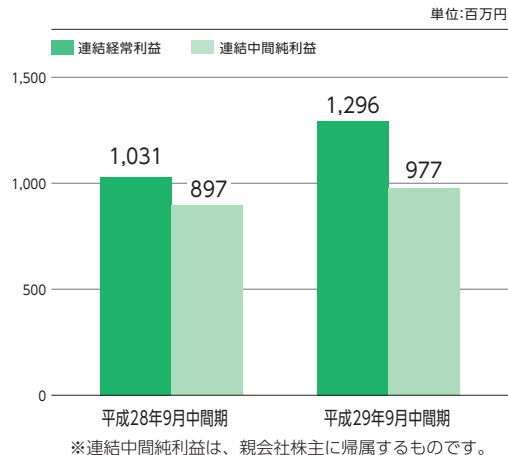




## 経常利益・中間純利益(連結)

### ～前年同期比増益～

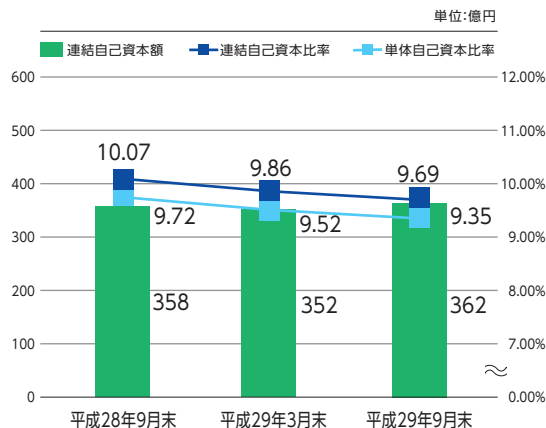
預り資産の販売増加等により役務取引等収益が増加したこと、さらに勘定系システムに係る一時費用の減少や経費削減効果などにより営業経費が減少したことなどから、経常利益は12億96百万円（前年同期比2億64百万円増加）、親会社株主に帰属する中間純利益は9億77百万円（前年同期比80百万円増加）となりました。



## 自己資本比率

### ～高い健全性を維持～

貸出金の増加（連結ベースで前期末比102億円増加）に伴い、リスク・アセットが増加したことから、自己資本比率（国内基準）は、連結9.69%（平成29年3月末比△0.17ポイント）、単体9.35%（同△0.17ポイント）となりましたが、国内基準4%を大きく上回る水準であり、高い健全性を維持しております。



## 開示債権比率(単体)

### ～前期末比0.13ポイント低下～

金融再生法による開示債権比率（単体）は、お取引先さまの経営支援に引き続き積極的に取り組んだことなどから、平成29年3月末比0.13ポイント低下して2.41%となりました。

